

令和7年度「黒岩知事と県民との”対話の広場”地域版(湘南会場)」参加者意見一覧(抜粋)

“対話の広場”地域版(湘南会場)では、当日のご発言以外にも、参加者アンケートにてご意見を頂戴いたしました。いただいたご意見・ご感想を以下の通りまとめました。(ご意見・ご感想は要約してあります。)

テーマに関する感想

今まで興味がでなかった地域活性化への活動方針や活動内容を今日で知ることができて良かった。今日をきに、自分が住んでいる地域の活動内容や、どうしたらもっと地域の人々の仲が深められるのかを考えてみようと思う。そして、定期的で開催されるハロウィンイベントなどの地域交流に積極的に行くなどもっと自分が住んでいる地域に関心を持ち、もっと自分の地域に関わりを持とうと思えた貴重な時間だった。

子ども食堂は今まで食事に困っていたり、生活が苦しい人たちのためだけの場所だと考えていましたが、今回の話を聴いて、人々がつながるために色々な人が集まる場所だと知り、子ども食堂がより良い印象に変わりました。知事の目指している今後の日本の姿を聴けて良かったです。

水嶋様の「デジタル化が進む世の中で古代から続いてきた印の文化を無くすのは正しいのか?」という問いに感銘を覚え人間が長い時間をかけて育んできた印というものに興味をもちました。

昔はコミュニティがあったので、人のつながりがあったが、今は、希薄化してきたから、昔と違って来た。これからは自発的に出来る事を少しずつ行っていく。人と人とのつながりを大事に、ボランティアで神奈川県民として生活していきたいと思えます。ありがとうございました。

行政として、足を引っ張らない、遠巻きにしてお支えするのが大事という知事のコメントに大変共感しました。

三島さんがお話しされていた「やれ!と言われてもやりません」というワードが印象的でした。私は本業の仕事以外にボランティア活動をして地域に少しですが関わる機会があり、そうすると集まったメンバーの自発性とエネルギーに驚くことがあります。本業以外に自分の自発性を発揮できる場があるのは素敵なことですし、県職員にもそのような場・副業に取り組める環境があれば良いと思いました。

”対話の広場”に関すること

色々な世代の人たちから多くの意見を聞いて多くの刺激を受けることができました

県としての働き、一つの取り組みには多くの時間、人が携わっていることが知れた。自分の目、耳で実際に感じれてとても良い時間となった。

同じ年齢で活動している学生や他の様々な世代の人と意見を交換する貴重な場でとても勉強になりました。次もぜひ参加したいと思います。

行政に対する質問が多かったように思いました。地域、市民ができる取組みのアイデアなどが出るような進行があると良いと思いました。(例:単発の質疑応答ではなく、ひとつの意見を掘り下げていくなど。)

神奈川の知事は幸せだと思います。私たちは、神奈川県民として考えていくのか市民として考えていくのか、大好きな神奈川、知事のお力で県民のそれぞれの力を引き出して欲しいです。